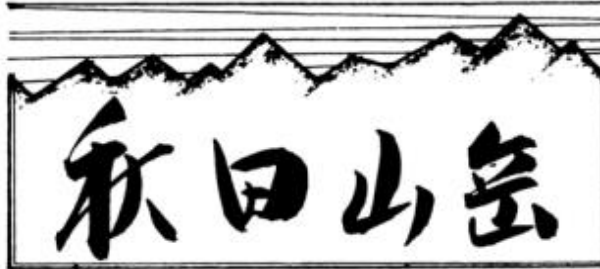


2021



令和3年10月 発行

No. 120

日本山岳会秋田支部

秋田市泉菅野
1-2-14 鈴木方

TEL・FAX018(823)2708

発行 秋田支部

編集 鈴木裕子

山岳歩道等整備に協力・参加

太平山・中岳から剣岳分岐 縦走路歩道整備に参加

鎌田 倫夫

八月二十日(金) 中央地区山岳協議会の登山道整備刈り払いに参加した。二手の又七時集合。他山岳会は出発していた。

草刈り機三台と燃料に食料、それと暑さ対策としてそれなりの水分を背負って出発。

秋田支部四人が担当したのは中岳から奥岳方面に向かって刈り払う予定であったが、他山岳会から参加者の一人が作業を開始していて、我々は手付かずの現場まで進み、作業を開始した。作業をしていると登っている時よりも疲れを感じない。緊張しているせいだろうか。二時間ほどで先発隊が刈り払った場所まで到達した。

時刻は十二時を過ぎており中岳まで戻り遅い昼食にした。一般登山者二名。昼食後、草木が伸び放題となっている中岳山頂周辺を刈り払い、綺麗に整えた。

十三時下山。三角井戸の付近まで伸び放題になっている箇所を刈り払いながら下山。
前岳・女人堂周辺も刈り払いし、十五時三十分下山開始。十六時三十分、二手の又駐車場着。帰宅の準備をしていると、他山岳会の参加者の一人が下山して来て、一名が体調を崩して前岳で休んでいるとのこと。

この日は支部会員の外に五名が参加。皆さんは、明日も作業をする予定とのことであった。暑い一日だった。

秋田支部参加者 鎌田倫夫
佐藤博 安藤金栄 三浦昭男



刈り払いを終えて



縦走路の刈り払い

山の環境整備

県民協働事業

秋田駒ヶ岳・笹森山 付近の歩道を整備

七月十七日(土)、休暇村コースと笹森山付近の木道を整備。主催は県自然保護課。

笹森山分岐から旧乳頭スキー場までの間を刈り払いや木道を補修。
参加者は、五十四名、角館高校山岳部、大曲高校山岳部、大曲工業高校ワグンダーホーゲル部、南八幡平地区パークボランティアから秋田支部の歩仁内昌樹会員、高橋吉一会員が参加。



木道の補修作業

(秋田県自然保護課発行
「山の日報第三十号」から)

永年会員

おめりんじゅこぼ

藤原 隆太郎 会員 羽後町

(No. 七二五四)

若松 謙三 会員 大仙市

(No. 七二七九)

両会員は昭和四十六年に入会
令和三年度で在籍満五十年と
なります。

本会通常総会開催

令和三年度通常総会は、六月十九日
午後二時から、東京四ツ谷・主婦会館
プラザエフで開催。

本年は、昨年に引き続き新型コロナウイルス
ウィルス感染拡大阻止のため、出席人
数を制限し、理事、監事、議事録署名
人などの少人数と、オンラインで開催
された。

（「山」七月号 第九一四号参照）

秋田支部はオンライン参加。

会長挨拶の「コロナにより日常を失
った生活が続いているが、ワクチン接
種による集団免疫により、一気に開花
される華やかな時代が来ることを期待
したい」との言葉が印象に残った。

議案は、いずれも原案通り可決、承
認された。

会員数情報 令和二年度末

◎会員数 四五一四名

名誉会員 五名

永年会員 四六〇名

終身会員 二一名

通常会員 三七六六名

青年会員 五二名

家族会員 一三二名

団体会員 七七名

◎準会員 二七二名

秋田支部会員数 四十九名

（令和三年四月一日現在）

新入会員紹介

小松 芳美 （六十六才）

会員番号 No.一六八一六

居住地 秋田市

入会 令和三年八月

紹介者 鎌田倫夫 鈴木裕子



山岳古道調査情報

○五月二十四日（メール）

第一次調査対象古道のリスト、五九
ヶ所の連絡があり、その中に秋田支部
推薦の「秋田街道」が調査対象となる。

○八月十一日（メール）

「パンフレット最終版」公共機関等
へ協力依頼の配布用

○八月三十一日（メール）「古道調査ホ
ームページパイロット版」

○九月三日（金）午後七時から、古道
調査プロジェクトチームと秋田支部と
のzoo mによるオンライン会議

・原稿作成要領、テンプレート、写真
撮影等の教示。その他意見交換。

・後日、GPSの軌跡をパソコンへ取り
込む講習会等を開催予定との事。

・「秋田街道」調査の進捗状況を聞かれ
たが、参考文献を調べており、現地調
査は未定と回答。

・岩手支部から「秋田街道」について
合同で行いたい提案があり、同意した。

・第二次調査対象古道に「仙北街道」
「白木峠」が調査対象となるので、「白
木峠」は秋田支部、「仙北街道」は岩手
支部にお願いしたいと希望した。

本会 近藤雅幸 永田弘太郎 他二名

秋田支部 鈴木裕子 鎌田倫夫

後藤浩二 三浦昭男

○九月二十六日（メール）
第二次調査対象古道リスト、五二カ
所に「白木峠」「仙北街道」が調査対象
となる。

※全国山岳古道調査

日本山岳会百二十周年記念事業
調査期間は令和三、令和七年度
全国で百二十の古道を調査予定

支部事務局会議

後藤 浩二

九月二十五日（土）午後二時から
zoo mによるオンライン会議。

出席者は各支部五十九名に本部を合
わせ、六十七名の参加で行われた。

総務担当柏澄子常務理事の司会によ
り進行。古野会長のあいさつに続き、

・支部活動報告 群馬支部（二〇一三
年設立会員数五九名）と越後支部（全
支部の中で二番目に古い支部。いずれ
も会員の高齢化の中で、活性化のた
め事業を興しているパワーを感じた。

・会務報告 「特別事業補助金」につ
いて等。また、「各支部の五年後のす
がたについて」のアンケートを予定。

・古道調査 支部とのzoo m会議を
七月から九月にかけて実施した。その
概要を報告。GPSの講習をzoo m
で行う予定。第二次調査対象古道の決
定（九月）。支部の能力を考慮して決
定する。

・新型コロナウイルス感染拡大のなか、
登山者が留意すること（橋本副会長）
登山口までの移動及び登山時全ての行
程で「三密」を避けるなどの感染防止
対策を徹底する。加齢による四肢
筋肉量の低下（特に六五歳以上）、
コロナ禍での生活環境の変化がより体
力低下を進めている。日頃のトレーニ
ングで体力維持に努め、無理のない安
全登山を目指しましょう。このほか、
公益社団法人としての支部活動、「山の
日」事業委員会、二〇二二年ウエスト
ン祭等の報告があった。

出席者 鈴木裕子 鎌田倫夫
後藤浩二 三浦昭男

山岳古道調査 白木峠山行 三浦昭男

【白木峠の概要】

秋田県横手市内と岩手県西和賀町を結ぶ生活道として重要な路線で、標高六〇二mの峠越えは急峻で牛馬さえ困難であった。明治年代に平和街道が整備され、現在は登山やハイキング道になっている。

【山行の実施】

令和三年九月二十六日(日)、天気は曇り。参加者二十三人、出発地点の駐車場に集合。

鎌田副支部長から参加者の点呼後、山行での注意事項を促した。続いて、鈴木支部長から「コロナ感染対策にも留意し、春の矢立峠に続く二回目の調査山行を楽しんでください」と挨拶があり、九時四十分出発。

【① 御番所】

出発点から約三〇〇m、国道一〇七号沿いに小松川御番所跡を確認し見学する。ここから古道だったと思われる舗装された道に入り、まもなく四辻の左側の急な階段を上った所に「山の神社」があり、参拝して歩を進める。付近は人家も結構あり、廃屋も散見される集落となっている。ここを過ぎると平和街道と交差するが、ここが古道山道への入口であり分岐点でもある。

【② 山道】

ここから、平和街道と別れ山道(古道)となり、道幅も人幅となる。杉との混交林に入り少し薄暗くなるが、まもなくナラと栗の木が多くなる。以前に崩落した急な崖と、倒木が道を塞ぎ、

注意を要する箇所もあった。

杉林を過ぎると少し明るくなり、樺の群生の中をしばらく進み、林道に入る。ここから古道の位置は不明となる。

【③ 街道】

まもなく平和街道と合流、街道は幅員約四・五m、整備もよく見通しよく、古道を歩いていることを忘れさせる。

【④ 再び山中】

街道をしばらく進むと右側の林の中に潜り込むような階段があり、山道を進むとやがて少し急な松林の道が続く。

【⑤ 五輪塔】

視界が開け、再び平和街道に出るとそこは小広場で、「五輪塔」が立ち、その由来の説明看板が有る。見晴らしも良く、小休憩する。

五輪塔

横手市指定有形文化財
所有者 大仙市角間川 平野徳
弘化二年 角間川から伊勢参りへの途上、吹雪で遭難した六名(二十歳から最高齢は五十七歳)の供養塔

【⑥ 最後の急坂】

平和街道を暫く進むと古道への分岐に出る。街道と別れ、左手の古道を登ると林道に出て、「頂上まで五八〇m」の標識があり、林道を横断する。この道幅は広いが急な坂道が続く。この峠で一番急な坂道で、最も辛いところかと思われる。喘ぎながらの坂道を上り詰めた所が今日の目的地、白木峠頂上。

上。十二時十五分全員無事到着した。

【⑦ 頂上から下山】

頂上では昼食中に雲行きが怪しくなり、少々早め(十三時五分)に下山開始。出発地点の駐車場には十四時四十五分に全員無事到着した。

支部長から芳いの言葉があり、現地解散となった。

黄葉も幾分か進む中、蝉の鳴き声も、秋の山野草も見られ、クリ、アケビ、薬草のセンブリを採った人、いいお土産になったのでは。

参加者

佐々木民秀 今野昌雄
柳田勇悦 鈴木裕子 鎌田倫夫
佐藤博 柴田勸 佐々木長秀
佐々木悦子 後藤浩二 三浦昭男
小松芳美
柴田路子
柳田ルイ子
他九名



① 小松川番所跡地



⑥⑦ 白木峠



センブリ



⑤ 五輪塔

秋田支部自然保護委員

堀井顧問の活動報告

◎令和二年度ボランティア活動の
一部を紹介

- ・ 太平山自然学習センター主催
前岳登山で一般二十名をサポート
- ・ 森林管理局主催
仁別の森伐倒準備下見サポート
- ・ 森林管理署主催
山の日親子自然観察会にサポート
- ・ 森林管理署主催 国民の森
森の工作
- ・ 仁別植物園主催 園内の案内・説明
四月から十一月。小学生及び一般参
加者延べ九十余名。

※会員で地域の自然観察会や地域の山
行や行事に協力している方は事務局ま



オブ山の杉 (川口溪谷) 鈴木裕子
周囲 15.2m 樹高 34m
秋田県一の幹周り (東北3位)



カモシカの親子 (土筆森山) 今野昌雄

でお知らせください。支部の公益的
事業として本会に報告します。

晩餐会中止のお知らせ

八月二十九日に本会からメール
で、「今年度の晩餐会は中止」の
お知らせがありました。

会務報告

八月二十三日(月)午後一時から泉コ
ミセン会議室
・ 九月三日の古道調査オンライン会議
の打ち合わせ。・ 白木峠下見山行の件
・ 九月三日(金) 白木峠古道調査山
案内発送。

出席者 鈴木裕子 鎌田倫夫
後藤浩二 三浦昭男

訃報

元会員 加賀谷 昭一さん

(北秋田市阿仁)

令和三年七月六日逝去

(享年八十八才)

元会員 土肥 久美子さん

(東京都)

令和三年七月八日逝去

(享年六十三才)

ご冥福をお祈りいたします

編集後記

本会との会議はすべてzOOMによる
オンライン会議となり、その操作に
難儀しています。

どうにか参加できるようになりまし
たが、まだまだ操作は不十分で、パソ
コンの画面から左下のマークをクリッ
クして下さいとか、指導を受けながら
参加しています。うっかりテレビの音
声や、独り言も聞こえることもあり、
また、自室が背景となるのに片付けて
いなくて恥ずかしい思いをすることも
あります。

また、これまでは印刷物として配布
されていた資料が大量のメールで送ら
れて来るので、そのプリントも大変で
す。六十ページから、多い時は百ページに
もなります。

パソコンを媒体にしての会話は、感
情がうまく届かず、考えが正しく伝わ
っていないような気がします。趣味も
学校も勤務も、パソコンが無ければ参
加できない状況はいつまで続くのでし
ょうか。コロナワクチンの接種は終え
ましたが、第六波が予想されています。
基本のマスク、うがい、手洗い、密に
ならず、休養を忘れずに、心がけたい
ものです。

令和四年度は支部役員改選年です。
支部運営に会員の皆様から委員の推薦
をお願いします。会報の編集も長くな
ってしまいました。

新しい感覚、違った角度からの運営
や会報の編集をするためにも是非、新
委員の推薦をお願い致します。

(編集者 鈴木裕子)